

3本柱の1つ目

個別支援



多様な方々が入所される中、個々の状況を把握し、学習を進めていくうえで課題を解決するための相談機会を設け、必要な支援を個別に実施しています。

当センターでは、特別指導教官を配置し、相談や評価、支援の中心を担っています。

個別支援の内容

(1) 学習手段を獲得するための支援

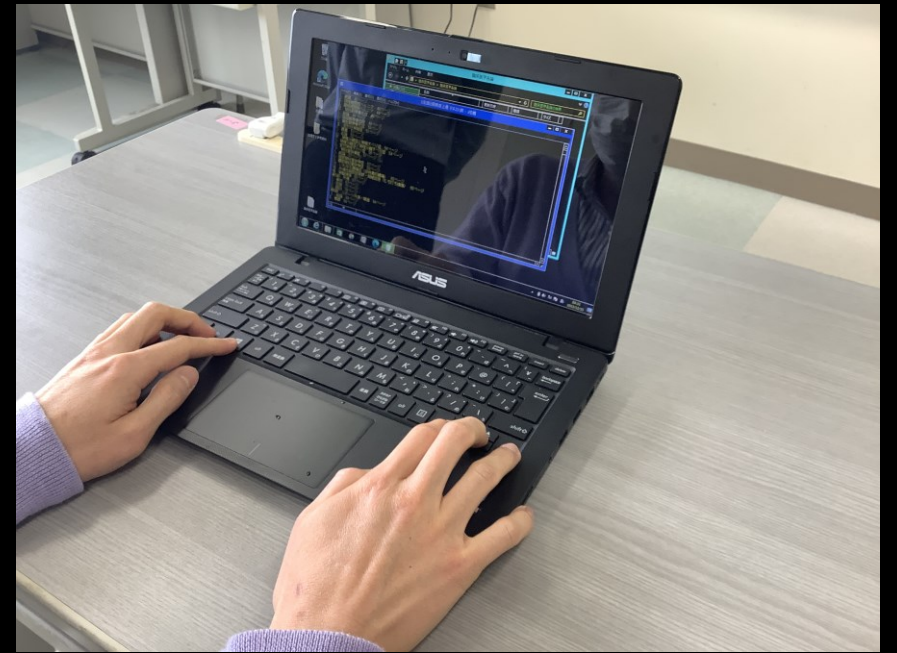
①読み書き支援

拡大読書器、ルーペの使用方法や濃い鉛筆、見やすいペン等の紹介を行っています。状況に応じて、当センターロービジョンクリニックへの紹介も行なっています。

②パソコン支援

画面の拡大や音声ソフトの使用方法など個々のニーズに応じて使いやすい環境にカスタマイズします。

ファイル管理方法やメールでのやり取りなども支援しています。



③録音機器支援

教科書や国家試験の音声データ方式であるデイジー機器の操作など支援します。



(2) 学力アップを目指した支援

①ノート作り

漢字へのルビつけ、箇条書き等わかりやすいノートテイク方法を支援します。

②基礎科目の補習

解剖学、生理学を中心に支援しています。

③実技での触察

手の使い方や立ち位置など支援します。

④総合学習

文章読解力、漢字能力などの基礎学力の向上を目指して、講師による支援を週1回程度実施しています。

個別支援の進め方

入所してから早期に個別支援の対象者を選定するために

- ①初期学習支援での支援状況や面談
- ②模擬授業・試験体験の状況
- ③学級担任と特別指導教官の話し合い

以上を総合的に判断し、個別の支援を5月から開始しています。

1年間の流れは以下のとおりです。

- 4月 初期学習支援・オリエンテーションの状況から対象者の選定
- 5月 個別の学習支援開始（総合学習も含む）
- 6月 中間試験などの結果から支援方法の確認、対象者の見直し
- 7月 夏季休業中の個別支援
- 9月 前期期末試験等の結果から支援方法の確認、対象者の見直し

11月 中間試験などの結果から支援方法の確認、対象者の見直し

12月 冬季休業中の個別支援

1月 後期期末試験等の結果を受けて次年度に向けての支援方法
の確認

3月 春季休業中の個別支援